

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2013年7月10日

No.2

システム充実に向けてアンケート実施を検討する!

申第11号 新会計システムに関する団体交渉

中央本部は7月4日、「新会計システムに関する申し入れ（申第11号）」に基づく団体交渉を行いました。冒頭、申し入れが4月25日で交渉が2ヶ月以上延びたことに対して会社に指摘し、会社も団交実施に時間を要した事に対して謝罪し、新会計システムの充実に向けて議論を進めることを確認し交渉に入りました。交渉において会社と確認した内容は、以下の通りです。

確認内容

- ①支社に対する教育は不十分であった。このことを反省し今後の教育の充実に向けて努力する。
- ②追加改修は毎年実施する。その場合に取り扱者の意見を反映させるためアンケート調査の実施を検討する。
- ③7月中旬から支社毎で資材担当に中間期棚卸に備え、新会計システムを使用した説明会を開催する。また、担当者全員が受講できる環境づくりについて努力する。
- ④今年度、老朽OA端末を全国で365台を取り替える。あわせて、回線高速化を実施した。
- ⑤ID配備については、四半期毎で見直しを行い、各支社の要望を反映させる。
- ⑥本社ヘルプデスク体制は、今後も継続させる。
- ⑦小口現金の取り扱いはいままで通りの扱いとする。
- ⑧パスワード入力間違いによるロックはヘルプデスクが対応し解除する。

新会計システム導入後、職場では様々な問題が発生しご苦勞をかけました。交渉においては、会社として教育の充実を図れなかったことが明らかになりました。中央本部は、現場の声を反映させ働きやすい職場づくりに向けて取り組むこととします。主なやりとりは、議事録を参照ください。

以上